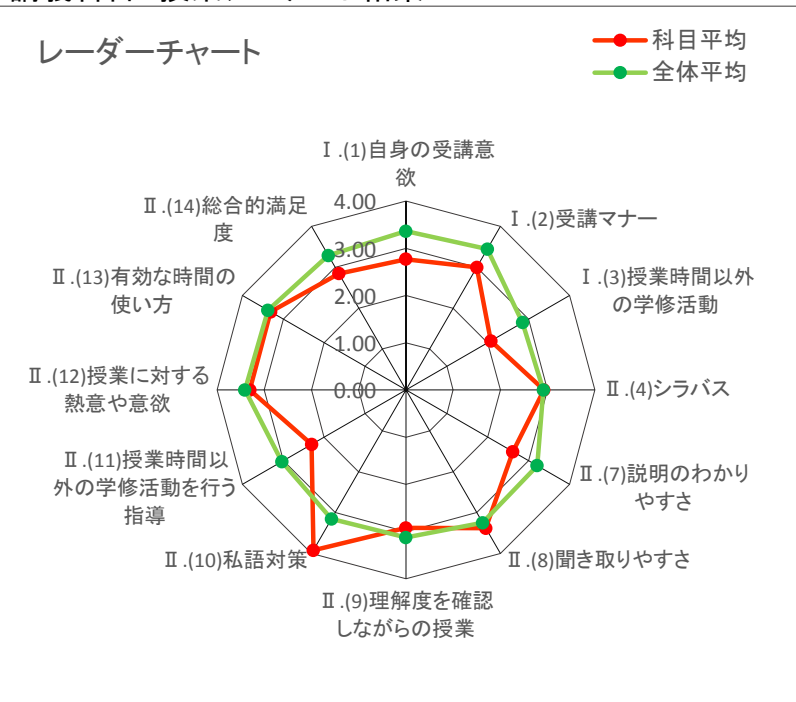
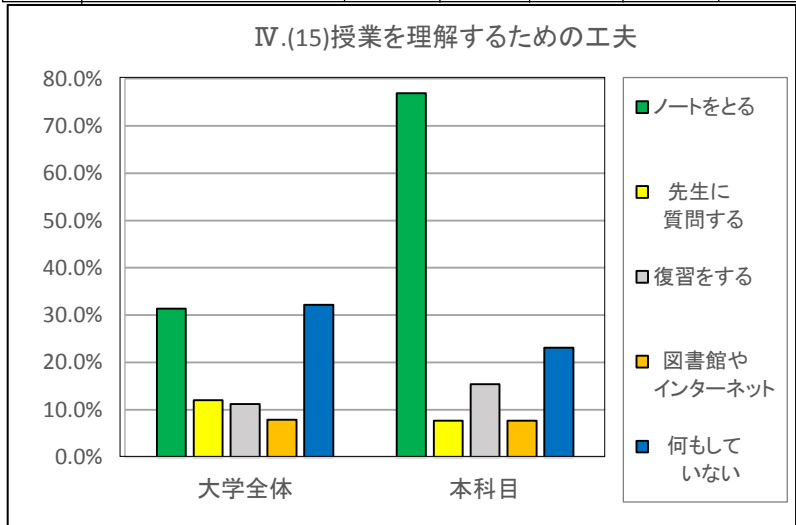


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	76.9%	7.7%	15.4%	7.7%	23.1%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	24202
科目名	数学の世界
教員名	

①授業計画の達成度について

本科目は、通常の数学の講義とは異なり、新しい概念を習得・理解し、応用できるようになることを到達目標とはしていない。本科目の目標は高校までの数学の知識を土台としつつ、その上にどのような数学が築かれているかを概観することにある。そのため、数学を5つの分野(世界)に分け、それぞれの世界の基本的な考え方や、世界間の関係を見ていくことを計画した。

授業計画の進行については、シラバスの通りに数学の5つの世界を1つにつき3回ずつ行い、計15回の授業が滞りなく行えた。各世界の最初の回には、その世界の基本的な考え方などを概説し、その後問題演習などを行いながら概念の定着を図った。その結果、さらには受講生の努力もあり、これまでには考えもしなかったような新しい数学概念について、良く付いてきた。

授業アンケートの結果によれば、「5.難易度高い」の科目平均は3.31であり、これは全体平均の3.00よりだいぶ高くなっている。これは、毎週のように新しい概念に出会うという科目の性格上、ある程度予想されたものである。アンケート結果を個々に見ていくと、「5.難易度高い」と「6.難易度低い」のどちらも「ややそう思う」にしたり、「あまりそう思わない」にした学生が複数いた。これは、新しい概念の中にも分かりやすいものと分かりにくいものがあるため、このような一見矛盾する回答になったと思われる。来年度の授業においては、特に難しい概念については解説方法の見直しを行い、より分かりやすいものに変えていく。

②授業の進め方について

設問7から13で授業アンケート結果の科目平均の数値が全体平均より明らかに低かったのは、「7.説明のわかりやすさ」、「9.理解度を確認しながらの授業」、「11.授業時間以外の学習活動を行う指導」の3つであった。7については、上でも述べたようにより分かりやすい説明を工夫していく。9については、現状でも問題演習を通じて理解度の確認は行っているが、学生が確認されている実感が持てるような方法を検討する。11.では、今年度は明示的な宿題は課さなかったため、来年度以降は宿題を出すようにしていく。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

この授業アンケートとは別に、最終回の授業のとき数学に対する印象はどう変わったかを尋ねたところ、肯定的であれ否定的であれ、ほとんどの学生は高校までの数学とは全く違ったものであるという印象を述べていた。その意味では、この授業の目標はおおむね達成されたものと思われる。ただ、②で述べたような授業の不十分点もあるのでこれらの点を改善し、数学に対する印象の変化を肯定的にとらえる学生を増やしていきたい。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	2.77	3.36
	I.(2)	3.00	3.45
	I.(3)	2.08	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.92	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.62	3.21
	II.(8)	3.38	3.25
	II.(9)	2.92	3.13
	II.(10)	3.92	3.16
	II.(11)	2.31	3.04
	II.(12)	3.31	3.41
	II.(13)	3.31	3.37
満足度	II.(14)	2.85	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	2.62	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.09	3.18
総合的満足度 III.(14)	2.85	3.29